

その他の調査計画

1.1 漂着ゴミの発生源及び漂流経路に関わる調査

(1) 目的

漂着ゴミの削減施策立案のための基礎的な知見として、ゴミが漂流・漂着に至るまでの過程を把握することを目的とし調査を実施する。

(2) 調査内容

本調査では、特にゴミの漂流・漂着経路及び海域へのゴミの流入に着目し、ゴミの漂着割合の推定調査を実施する。

(3) 対象とするモデル地域

山形県酒田市(赤川河口部)を対象とする。

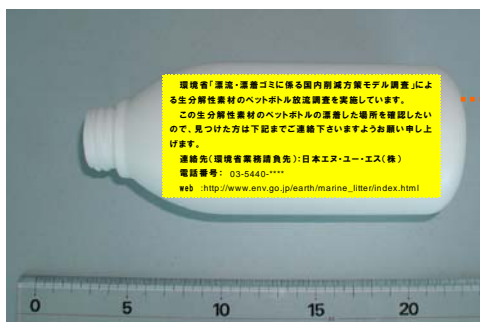
(4) 調査方法

漂着割合は、表 1 に示す河川の河口部より、図 1 に示す生分解性プラスチック製のペットボトル様漂流ボトル(100 本/回)を放流し、クリーンアップ調査等にて回収することにより推定する。

表 1 漂流ボトルの放流予定地点

●山形県

地点名	放流箇所	緯度	経度
赤川河口	袖浦橋	38° 50' 46"	139° 47' 26"



表面

裏面

環境省「漂流・漂着ゴミに係る国内削減方策モデル調査」による生分解性素材のペットボトル放流調査を実施しています。

この生分解性素材のペットボトルの漂着した場所を確認したいので、見つけた方は下記までご連絡下さいますようお願い申し上げます。

連絡先(環境省業務請負先): 日本エヌ・ユー・エス(株)

電話番号: 03-5440-****

web :http://www.env.go.jp/earth/marine_litter/index.html

This is a biodegradable bottle for the survey by the Ministry of the Environment, Japan, to track dispersions of litters.

If you find this bottle, please contact our contractor below.

JAPAN_NUS_CO.,LTD.

PHONE: 81-3-5440-3941 mail: litter2007@janus.co.jp

WEB: http://www.env.go.jp/earth/marine_litter/index.html

図 1 調査に使用する漂流ボトル

ボトル側面には、回収時の連絡をお願いする文章を日本語及び英語にて印刷する。文字及び背景色を変更した組み合わせを2種類(黄・青)用意し、放流日時・場所を判別可能とする。

放流を実施する県並びに隣県及び周辺の自治体の関係諸機関には、本調査の周知を行い、ボトルの回収率向上に努める。

ボトル成型に適用可能な生分解性プラスチック素材には PBS (ポリブチレンサクシネート) と PLA (ポリ乳酸) が存在するが、本調査では、より生分解性能が高い PBS を用いることとした。

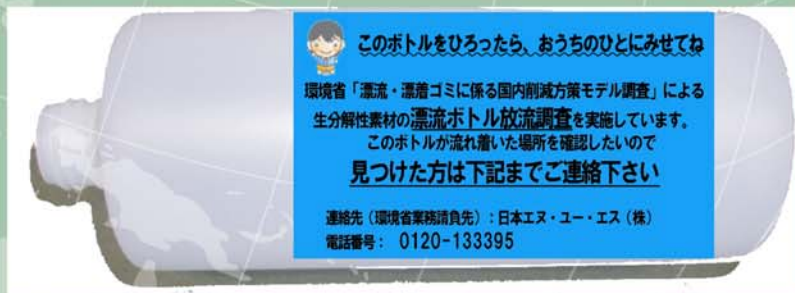
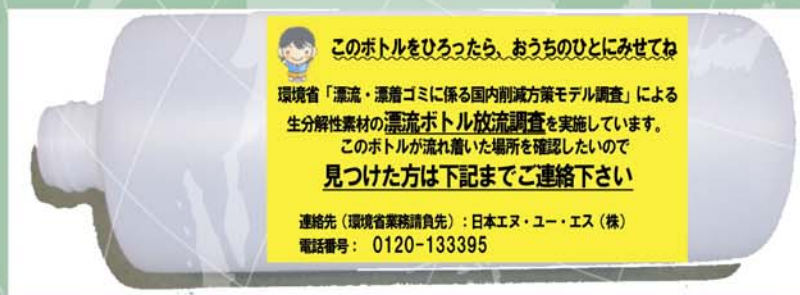
(5) 作業工程

作業工程は表 2 のとおりである。放流は、12 月より 2 回程度実施する予定である。

表 2 漂着ゴミの発生源及び漂流経路に係る調査の作業工程 (平成 19 年度)

項目	年月			年月		
	H19 10月	11月	12月	H20 1月	2月	3月
ゴミの漂流・漂着経路、漂着割合の推定調査	←準備	→	←		→	

漂流ボトルを 探しています



漂流ボトルをみつけたら…

下記の連絡先まで、お電話ください。

お電話で、次の2点について教えてください。

- ①いつ、どこで拾いましたか？
- ②ボトルのラベルの背景色を教えてください。
黄色ですか？
青色ですか？



連絡先(環境省業務請負先)

日本エヌ・ユー・エス株式会社
漂流・漂着ゴミ調査担当

電話番号: **0120-133395**(フリーダイヤル)